

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 新庁舎危機管理フロア整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 災害対策係 電話番号：058-272-1111 (内 2745)

E-mail： c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 315,924 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	315,924	0	0	0	0	0	0	275,600	40,324
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新庁舎の建替えに伴い、災害がいつ発生しても即座に対応できるよう、行政棟5階の危機管理フロアを、災害情報の収集や災害対策の立案と実行を担う災害対策本部の活動スペースとして整備する。

気象情報や災害情報などのあらゆる情報を一元的に把握し共有するなど、令和3年度から令和4年度にかけて新庁舎危機管理フロアの設備工事を実施する。また、令和4年度には、施工・管理業務を委託するとともに、什器設備等の調達を行う。

(2) 事業内容

- ・新庁舎危機管理フロア設備工事 273,350 千円
- ・施工管理委託 2,260 千円
- ・什器等整備 40,314 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県事業のため県負担

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	273,350	新庁舎危機管理フロア設備工事 327,204 千円 ※令和3年度契約、債務負担上限額 333,000 千円
委託料	2,524	施工管理委託 2,260 千円 タブレット端末費用 264 千円
備品購入費	25,704	什器購入費
需用費	12,841	災害対策用消耗品購入費
使用料	374	タブレット端末運用費用
役務費	919	タブレット端末初期設定費用
旅費	212	機材講習会旅費
合計	315,924	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

令和5年度以降は、タブレット端末のサービス利用料 2,580 千円/年
(役務費 1,458 千円/年、使用料：1,122 千円/年) を負担

(2) 事業主体及びその妥当性

県が独自で整備するものである。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 防災対応時の初動体制、その後の情報集約等の中核を担う危機管理フロアについて、令和4年度開庁予定の新庁舎建設と協調して整備を進める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H29)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	
					達成率	
① 実施工事	—	—	—	実施工事		0%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p><取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に委託した実施設計に基づき、岐阜県新庁舎危機管理フロア設備工事を発注 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の開庁に合わせて危機管理フロアを運用開始
令和3年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>新庁舎の建替えに伴い、即時性、機能性、実用性を具備した最適な危機管理フロアを構築するため、必要な設備工事を実施する必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>災害時には、県職員だけでなく、様々な関係機関の職員が災害対策本部に集結し災害対応に当たることから、機動的な本部運営が可能なフロア仕様とする。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新庁舎に係る建設部局と協調する必要がある、新庁舎の開庁と同時に運用を開始できるよう、工程管理も含め工事を進める必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新庁舎の開庁と同時に運用を開始できるよう、危機管理フロアの整備を引き続き進める。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	